

健康を学ぶ

お薬と上手に

付き合っていていくために

武雄市立武雄市民病院 薬剤科

薬の効果を、十分発揮させ、また副作用を出さないためにも正しい薬ののり方を、心がけましょう。

①薬をのむときの注意

☆包装からきちんと押し出してから、薬だけをのんでください。



☆薬をのむときは、必ず、コップ一杯の水かぬるま湯で飲んでください。

薬を水以外でのむと、体に吸収されにくくなり、期待される治療の効果がでないことがあります。また、薬を水なしでのむと、のどや食道にひっかかるともありません。食道で薬が溶け出すと粘膜が傷つき、ときには潰瘍になって出血することもあるため危険です。

☆薬をかみくだいでんだり、カプセルを開けて中身だけをのんだりすることはやめてください。

☆薬の種類によっては、胃に負担がかからないように腸で溶けるようにした薬や薬の効果を長くするために工夫した薬もあります。

☆薬は指示されたとおりのみましよう。

②薬をのみ忘れたときの注意

☆薬2回分の量をまとめてのむことは、絶対しない

一般的な薬の服用時間

食前

食事のおよそ30分前



食間

食事のおよそ2時間後



食後

食事のおよそ30分後



食直後

食事の後すぐ



寝る前

寝るおよそ30分前



薬の種類によっては、その時期や1日服用回数は違いますので指示に従って正しくのむことが大切です。

でください。

☆薬の効果がよくなくても自分の判断で薬をやめないでください。

③薬の保管について

☆光のあたらない涼しい所に保管してください。

④副作用を防止するための注意

☆診察時に、今までに薬をのんで副作用が起きたことがある場合や現在、他にのんでいる薬があるときは、必ず伝えてください。

☆薬をのんで、身体の調子が悪くなったり、いつもと変わった症状があればすぐに医師または薬剤師に相談してください。

⑤その他の注意

☆症状がよくなくても自分の判断で薬をやめないでください。

急に薬をやめると、治療の妨げになるばかりか、反動から症状が悪化し危険な場合があります。のみ忘れが多いときも正確にそのことをお知らせください。医師が薬の効果を、判断します。

☆残った薬を処方期間を過ぎてのんだり、人にあげたりしないでください。



▲薬剤科スタッフ
(薬剤師4名、事務1名)

入院患者さまには、ベッドサイドで薬のご説明をいたします。

武雄市民病院から

出前講座いたします

市民病院では、市民の皆様の健康維持・増進と病気予防にお役立ていただくために武雄市教育委員会が実施している出前講座に左記の講座を登録しております。出前講座を希望される場合は、武雄市教育委員会文化・学習課へお申し込み下さい。

問 申込先 文化・学習課

☎ (23)5168



担当:大島



●生活習慣病への対策

運動療法を知ろう

●生活の中でのコツ、無理せず過ごそう!!

福祉用具を知ろう

●加齢と食事

ムセへの対応について

●痔・肛門の病気について

切れ痔、穴痔について

●大腸がん・直腸がんについて

肛門からの出血は注意が必要

●危険な頭痛とそうでない頭痛

放置してはならない頭痛について

●高齢者が転んだらどうなる?

骨折の予防と生活

●膝の痛みはどうしたらいい?

変形性膝関節痛の治療について

●メタボ追放!食生活の意外な落とし穴

家族の健康のために知っておきたい料理の話

●糖尿病教室

糖尿病の基礎知識、糖尿病食の作り方

●ボケてたまるか

健やかな長生きの秘訣や最新医学のよもやま話



●いつまでも歩くために

骨粗しょう症と背骨の骨折

●自分の事は自分でしよう

～手足のしびれの原因～
脊椎の病気と治療について

●日頃の健康管理

自分の健康を維持するために、生活環境を見直しましょう

●いろいろなお薬について

お薬の正しい飲み方と使い方、今話題のジェネリック 医薬品について

●自分らしい生活を送るために

転倒予防について



武雄市民病院 職員募集

看護体制をさらに手厚くするため、職員の募集を行っています。

◆看護師 (正看護師・准看護師)

・フルタイム

(時給1400円～2000円)

・パート

(時給1200円～1800円)

・ナイトケア

(時給2500円)



薬剤師(嘱託職員)も募集しています。詳しくは、お問合せください。

問 武雄市立武雄市民病院

☎ (23)3111(代表)

担当:池田